脂肪性残留物試験用試薬

パプリカ/クルクミンアルコール溶液

『学校給食法』で定められている『学校給食衛生管理基準』では、食器類の洗浄状態を調べるための定期 検査を義務づけています。

「パプリカアルコール溶液」,「クルクミンアルコール溶液」は、食器類に残留付着した脂肪成分を染色し、判別するための試薬です。簡単に検査することができるため、日常点検にもご活用いただけます。

使用方法 ①食器に検査溶液を適量 ②軽く揺り動かして、表面全体に 色素溶液をゆきわたらせる。 ②色素溶液がなくなるまで 軽く水洗する。 のルクミンアルコール溶液 グルクミンアルコール溶液 ②紫外線(365nm)を照射し 黄緑色~緑色の蛍光の有無を確認する。

参考資料:文部科学省告示第64号「学校給食衛生管理基準」(平成21年4月) 日本学校薬剤師会編:「学校給食の食品衛生」

製品リスト				
製品名	規格	包装	製品番号	
脂肪性残留物試験用試薬				
クルクミンアルコール溶液	脂肪性残留物試験用	100 mL	<u>07528-23</u>	
パプリカアルコール溶液	脂肪性残留物試験用	100 mL	33039-23	
その他の残留物試験用試薬				
0.05mol/Lよう素溶液 (N/10)	容量分析用滴定液	500 mL	<u>20243-08</u>	
ニンヒドリン	UGR	1 g	<u>28154-64</u>	
0.25%ニンヒドリン溶液	胃液中蛋白測定用	100 mL	<u>28604-23</u>	
フェノールフタレイン溶液(10 g/L)	滴定用指示薬	100 mL	32805-23	

※上記試薬の対象物質…よう素溶液:でんぷん, ニンヒドリン溶液:タンパク質,フェノールフタレイン溶液:アルカリ性洗浄液

関連製品 残留塩素測定用試薬

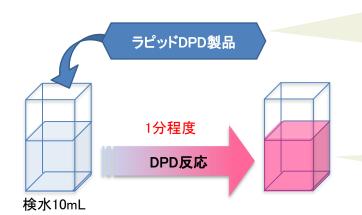
残留塩素測定用『ラピッドDPD®シリーズ』

同一メニューを1回300食以上又は1日750食以上を提供する「大量調理施設」では、調理に使用する水の遊離残留塩素が、0.1 mg/L以上であることを始業前及び調理作業終了後に毎日検査し、記録することが義務づけられています。弊社では「ラピッドDPD試薬」シリーズとして、さまざまな包装タイプの残留塩素測定用試薬をご用意しております。

製品名	規格	包装	製品番号
ラピッドDPD®試薬	残留塩素測定用(簡易分析用)	25 g	<u>36540-33</u>
ラピッドDPD [®] 試薬 II (分包)	残留塩素測定用(簡易分析用)	100包	<u>36542-97</u>
ラピッドDPD [®] タブレット	残留塩素測定用(簡易分析用)	100錠	<u>36541-96</u>
ラピッドDPD®タブレット-ES	残留塩素測定用(簡易分析用)	100錠	<u>36545-96</u>
ラピッドDPD®タブレット-ES	残留塩素測定用(簡易分析用)	500錠	<u>36545-97</u>

※市販のDPD比色計をご利用いただけます。

遊離残留塩素の測定方法



①検水10 mLに対して一定量加える

ラピッドDPD®試薬 ⇒ スプーン1杯

ラピッドDPD®試薬(分包) \Rightarrow 1包 ラピッドDPD®タブレット \Rightarrow 1錠 ラピッドDPD®タブレットES \Rightarrow 1錠

②市販の比色計を用いて比色し 遊離残留塩素濃度を求める

参考資料:大量調理施設衛生管理マニュアル(平成9年3月24日衛食第85号別添)

(最終改正:平成29年6月16日付け生食発0616第1号)

▼ラピッドDPDについて



ラピッドDPDの製品パンフレットを PDFにてご覧いただけます。 ▼試薬検索サイト: Cica-Web



製品の在庫状況や最新価格をご確認いただけます。

- 本記載の製品は、試薬 (試験、研究用として用いる化学薬品)としての用途にご利用ください。
- 本記載の製品情報は予告なく変更する場合があります。 最新情報は、弊社ホームページ「Cica-Web」をご確認ください。



関東化学株式会社

試薬事業本部

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町2丁目2番1号

TEL: 03-6214-1090 HP: https://www.kanto.co.jp

RFB-03(202402)